

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(5月下旬から6月上旬)と比べて①良くなっているか、②悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。	良くなっている	消費税増税前需要の反動による落ち込みから回復してきている。5、6月に比べ8月の消費活動は上がっている。8月上旬は好天、夏休み等で、イベント、祭り等の賑わいがあったが、後半は節約指向となり、日常必要なもの意外の物の買い控えが見られる。企業活動も反動減から回復してきているが、資材、燃料価格、電気料金及び人件費の上昇等により、回復の減速懸念がある。公共工事等復興関連が東北の経済を下支えしているが、建設、土木の現場では労働人材の不足があり、工事の進捗が懸念されている。 消費税増税前に戻りつつあるとは言え、景気の回復は力強さに欠けるという印象。
1-2	今後の経済のリスク要因について、300字以内でご記入ください。	—	商品単価の上昇、ガソリン価格の高止まり、電気料金の値上げ等から節約指向が見られる。今後、賃金の上昇があったとしても、消費税増税等商品単価の上昇分で相殺されるとすると、消費マインドは冷え込んでしまう。 東北地域は復興がまだまだ道半ばであり、復興にかかる公共事業への依存も大きいことから、復興予算の継続が重要である。
景気回復の拡大に向けた取組			
2-1	安倍内閣の目指す、経済の好循環シナリオについて、ご意見があれば、300字以内でご記入ください。	—	石油を初め輸入材の価格上昇による商品単価の上昇は、雇用の拡大や賃金の上昇があっても、内需拡大につながっていかない可能性がある。特に地方では中小企業が大半であり、思うように賃金が上がっていない現状から、地方で需要拡大はあまり期待できない。賃金上昇率の高い都市部と、地方を一緒に考えることは出来ない。
2-2	設備投資・企業収益、賃金・雇用、そして消費の拡大について、それぞれ進展しているとお考えになるか、「Yes」、「No」で選び、その理由及び今後の課題等を300字以内でご記入ください。 ①設備投資・企業収益の増加	Yes	政策投資銀行東北支店の調査では、2014年度通期で東北地域の設備投資は対前年比18.8%増となっている。東北財務局の発表では、4-6月期の設備投資はプラス、特に製造業がこれまで続いたマイナスからプラスに転換している。 企業収益は改善傾向が続いているが、ガソリン、人件費、電気料金等コストが増加しており、製品単価が消費税分上がっていないのが懸念材料。

質問事項		選択式回答	記述式回答
2-2	②賃金上昇・雇用拡大	Yes	<p>春季賃上げ状況を見ると、賃金はあがってきている。上昇幅は昨年を上回っているが微増である。例えば、宮城県経営者協会の調査では、賃上げを行っていない企業数は減少しているが、賃上げを行った企業の平均アップ率は1.67%であり、消費税増税負担分をカバーできていない。但し、賃上げを行っていない企業数が前年比半分以下となっていることは雰囲気としては明るい好材料となる。</p> <p>有効求人倍率は高い水準で推移しているが、雇用者数は微増～横ばい状態で推移。</p>
	③個人消費の拡大	Yes	<p>消費は緩やかに回復している。</p> <p>ただし、これまで商品単価が消費税増税分上がっていない状態にあり、今後、コスト増加分の商品単価上昇が、消費者の節約指向につながっていく。</p>
2-3	<p>昨年、経済の好循環に向けて、政労使会議が立ち上がり、「経済の好循環実現に向けた取組」との文章がまとめられました。</p> <p>その中に記載されている4つの取組(賃金上昇、中小企業等支援、非正規雇用労働者の処遇改善、生産性向上・人材育成)について、取組が進んでいるとお考えになるか、「Yes」、「No」で選び、その理由及び今後の課題等を300字以内でご記入ください。</p>	Yes	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の技術開発等生産性向上支援は引き続き継続、更なる拡大が望まれる。 ・非正規雇用から正規雇用への転換を促し、賃金格差を是正し、男性非正規雇用者の有配偶率を上げることが、少子化対策にもなるのではないかと。 ・地域経済の回復には、地域に良質な人材が居ることが必要。そのための教育の充実、人材育成、流出防止、優れた人材の移入を図るための、更なる地域支援が求められる。
自由テーマ			
3	<p>その他、政府の政策課題等について、ご意見があれば、300字以内でご記入ください。</p>	-	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災からの復興が、未だ地域によってまちまちで未達成の状態。復興予算の継続を希望する。 ・更に、東北地域への企業誘致、立地促進のためには、工業団地整備が必要であり、自治体が整備する工業団地造成への支援策を希望する。 ・東北は面積が広く交通網の整備が遅れていることから、物流が円滑に行われずコストも高くなっている。交通インフラ早急な整備を希望する。 ・以上、東北地域の復興を促進する政策に併せて、産業の復興に資する、ものづくり補助金等中小企業のイノベーションを支援する事業の規模拡大を希望する。